



(No. 1 3) 武生高等学校 定時制



	書名	著者名	出版社	価格 (税込)
【1】	本と鍵の季節	米澤 穂信	集英社	1,540 円

推薦図書の説明

高校2年生の男子二人の図書委員。当番をしている図書室には様々な謎が持ち込まれる。自殺した友達が最後に読んでいた本を見つけて欲しい。兄が学校の器物破損の疑いをかけられているから、そのアリバイを証明して欲しい、など。二人で協力して謎を解いた後には、思いがけない真相と、依頼者の裏の思惑が明らかになるという、ちょっとビターな展開の短編集。

	書名	著者名	出版社	価格 (税込)
【2】	早朝始発の殺風景	青崎 有吾	集英社	1,595 円

推薦図書の説明

全編がワン・シチュエーションで演劇作品のように統一された短編集。どれも主人公は高校生である。学校行きの朝5時台の始発電車。こんな電車にはほとんど誰も乗っていないだろうと思いきや、一人のクラスメートが。捨て猫を拾ってきた妹に対して兄はなぜ執拗に飼うことに反対するのか。真相が明らかになった後に、高校生ならではの淡い情感が浮かび上がる。

	書名	著者名	出版社	価格 (税込)
【3】	上級国民／下級国民	橘 玲	小学館	902 円

推薦図書の説明

昨年、インターネットで一気に広まった上級国民／下級国民という言葉。「日本社会は上級国民によって支配されている」「自分たち下級国民は一方向的に搾取されている」…多くの人々が薄々感じていたことを様々な状況証拠を元にずばり言い表した内容。分断されているのはアメリカだけではない、先進国と言われる国はどこも同じ、そしてその傾向は加速していく…それを実感させる本。



	書名	著者名	出版社	価格 (税込)
【4】	なめらかな世界と、その敵	伴名 練	早川書房	1,870 円

推薦図書の説明

日本中の SF ファンが刊行を待ち望んでいた、著者初の短編集。いくつもの並行世界を行き来する少女たちの1度きりの青春を描いた表題作、ソ連とアメリカの超 AI がせめぎあう改変歴史ドラマ、修学旅行帰りの新幹線から永遠に降りられなくなった級友たちを、インフルエンザで修学旅行に参加できなかった高校生の視点で描く、新海誠の映画のような一遍。卓抜した想像力が生んだ傑作短編集。

	書名	著者名	出版社	価格 (税込)
【5】	教室が、ひとりになるまで	浅倉 秋成	KADOKAWA	1,650 円

推薦図書の説明

高校2年のA組とB組は、学校祭で合同でカラオケのど自慢大会や仮装パーティーなどを企画する「最高の」クラス。反面、善意の同調圧力が支配する教室空間だ。そこで、なぜか企画に熱心だったリーダー格の生徒たちが全く同じ文面の遺書を残して自殺する。ある特殊能力を持つ探偵役の少年が、その捜査に乗り出すのだが…。